

待望の「平市公民館図書部」が開館

「いわき総合図書館」の前身となったのは、昭和23（1948）年8月23日に開館した「平市公民館図書部」です。いわき市が発足したのは、昭和41（1966）年10月ですから、当時はまだ平市でした。それまでも、諸橋元三郎の「三猿文庫」をはじめ、「海外協会 佐賢図書館」など、私立図書館・文庫はいくつかありましたが、市立図書館としてはこれが最初となりました。

平市公民館図書部の開館を報じる当時の『いわき民報』（昭和23年8月20日付）には、「閲覧は午前八時から午後三時までで貸出はしない方針」、「予算の関係で目下書籍も月刊雑誌に限られている」とあり、本格的な図書館というよりも、図書コーナーといった規模やサービスでのスタートであったようです。

場所は平市公会堂の2階で、当時、平市公会堂は、平市役所の仮庁舎として使われていました。現在の市文化センター北隣の葬祭場「さがみ典礼 いわき迎賓館」（旧大黒屋デパート跡）が、平市公会堂跡にな

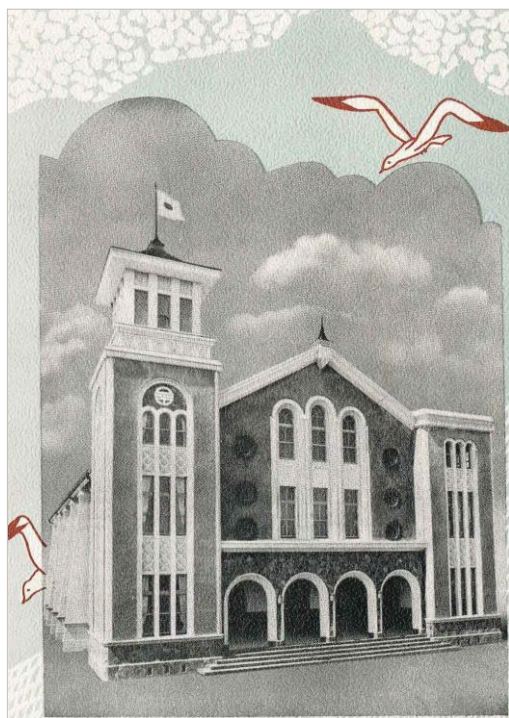
ります。

ちなみに、日本における公共図書館の設置は、明治32（1899）年に「図書館令」が公布されたことで進められます。

福島県内の図書館で最も古い公立図書館は、明治37（1904）年に開館した会津若松市立会津図書館です。福島市立図書館は明治41（1908）年、福島県立図書館は昭和4（1929）年の開館ですから、いわき地方における公立図書館の設置は、他の地域に比べ遅れたことがわかります。

当時も、図書館建設の声はあがりましたが、実現までには至りませんでした。ですから、市民にとっては待望の図書館開館だったのです。それは、開館後の利用者の増加からも知ることができます。

その後、平遙樋小路の私立平陽女学校跡、平堂根町の市文化センターへの移転を経て、平成19（2007）年10月25日、いわき駅前再開発ビル「ラトブ」の4・5階に、いわき総合図書館が開館しました。



平市公民館図書部が開館した。（「平市公会堂竣工記念絵葉書」昭和13年）



『いわき民報』（昭和23年8月20日付）



昭和26年頃の平駅前（『平市勢要覧 昭和26年度版』）